

『跡倉ナツプと中央構造線』 正誤表

著者名 小坂和夫

Ver.1.0

No	頁	行	誤	正
1	4	下 11	区別してある。	区別してある(すべて本書著者の判断による)。
2	27	図 1-5(f)	東西性向斜	向斜
3	31	16	Do_dairayama	Dodairayama
4	46	表 2-1(1990 年、文献 320 の行)	すべてに	すべての
5	47	2	見える	みえる
6	53	6	(引用元は正字)	[引用元は正字]
7	55	8	思う』	思う』
8	74	下 2	Kinsho_zan	Kinshozan
9	93	16, 17	[貫入関係報告 2:・・・]	(貫入関係報告 2:・・・)
10	101	図 5-2 引用元	地質調査所(1992)	牧本・竹内(1992)
11	110	下 11	(「角閃岩類」)	(「角閃岩類」)
12	122	7	1つ	二つ
13	124	下 9	表式的 _{ママ}	標式的 _{ママ}
14	134	図 6-3(a)	馬山—金井線 _[1]	馬山—金井線 _[1]
15	135	2	NW—SE	NW—SE
16	137	下 5	一連の報告	報告
17	139	図 6-4	三本杉 700 m	三本杉 1 km
18	156	10	・・・)(295)	・・・)(₂₉₅)
19	165	13	・・・である(④, ⑤)。	・・・である(④, ⑤)一。
20	166	図 7-4[参考文献]末尾	・・・の岩体(441)。	・・・の岩体(441)。
21	166	下 5	0.7047~7058	0.7047~0.7058
22	170	3	引用文献	参考文献
23	175	図 7-5	(文字のかすれ)	(添付図参照)
24	177	図 7-6	肥後—阿武隈帯 金勝山—南部北上帯	肥後—阿武隈帯 金勝山—南部北上帯
25	179	表 7-1	古領家帯[T] 古領家帯[G] 領家外縁帯(612) 領家ナツプ[O]	古領家帯 _[T] 古領家帯 _[G] 領家外縁帯 ₍₆₁₂₎ 領家ナツプ _[O]

26	182	下 15	1)~1 <u>3</u>)	1)~1 <u>2</u>)
27	192	12 13	「 The …	「The …
28	//	下 10	… words <u>、</u> the …	… words <u>、</u> the …
29	//	下 1, 2	「不整合か断層か」	「不整合か断層か」
30	193	下 2, 6, 15	[<u>2</u> ']	[<u>2</u> ']
31	194	図 8-1(a)(つづき)	【21】	【22】
32	231	図 9-1	(対比線のかすれ)	(添付図参照)
33	243	2	(<u>9.2.1</u> 項)	<u>9.2.1</u> 項)
34	243	下 10	(跡倉ナツプ→領家ナツプ)	(跡倉ナツプ(→領家ナツプ))
35	248	図 9-5	(文字のかすれ)	(添付図参照)
36	256	11	(565)	(565)
37	260	10	示さ <u>る</u>	示さ <u>れる</u>
38	264	表 10-1(1995 年、文献 384 の 行)	大北野 <u>、</u> 岩山線	大北野 <u>、</u> 岩山線
39	267	表 10-2、最上行	岩石学的特	岩石学的特徴に関する考察
40	275	2	…を <u>も</u> つ変成岩	…を <u>持</u> つ変成岩
41	282	図 10-8、14 の行	(山ノ神沢支	(山ノ神沢支 <u>流</u>)
42	285	6	<u>第 4 段落</u>	(削除)
43	336	下 7	<u>相互作用</u>	<u>相互関係</u>